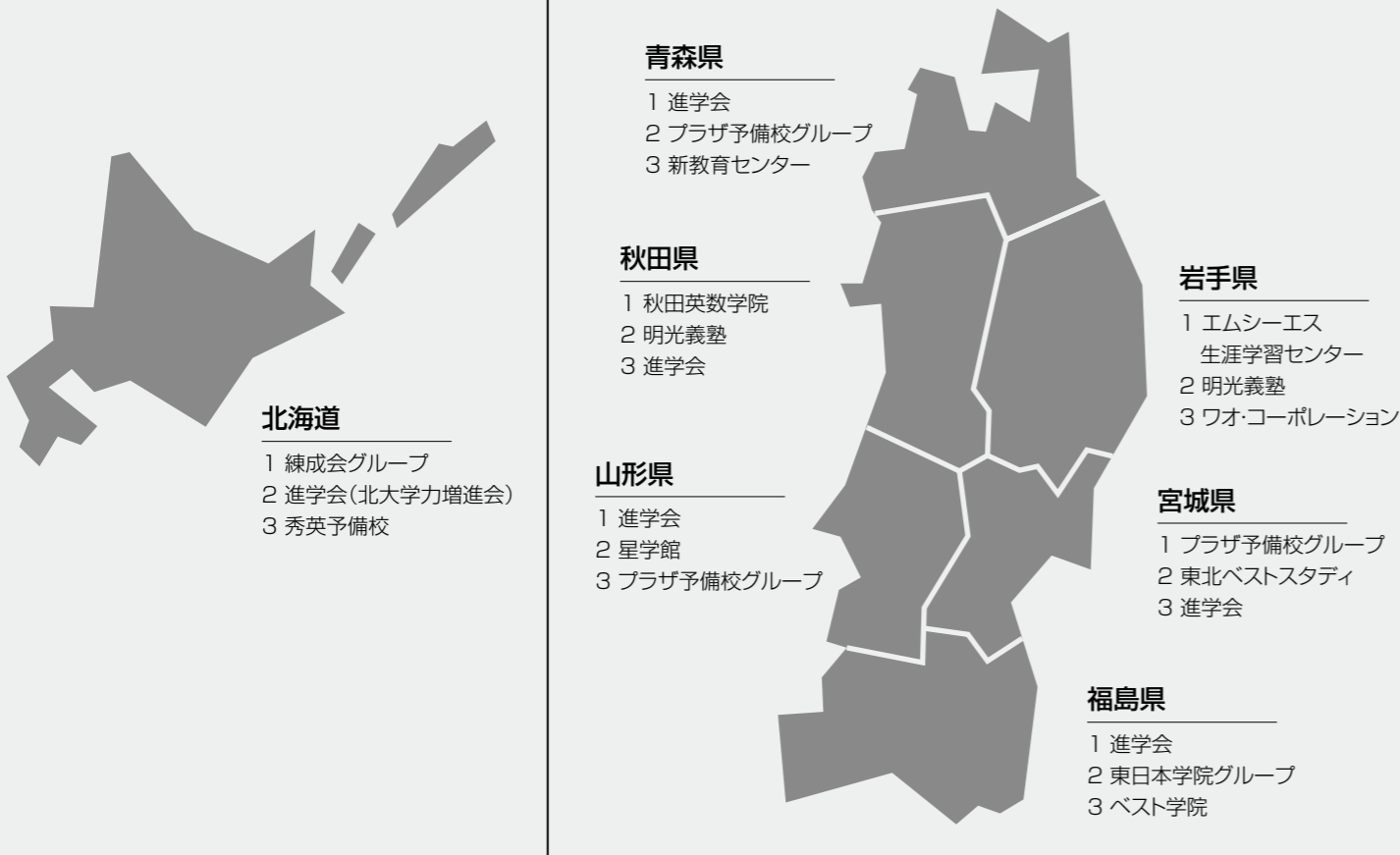


### 3-1 北海道・東北地方の塾



## 青森県

	事業所数 405所	従業員数 1,651名
--	-----------	-------------

生徒数(教室数) 上位5社

- 1 進学会
- 2 プラザ予備校グループ(青森進学プラザ)
- 3 新教育センター
- 4 明光義塾
- 5 英進塾

#### 現況

青森県全体では進学会(東北大進学会)が断然トップであろう。青森、八戸、三沢に本部を置き、15会場の教室がある。二番手は青森進学プラザ(仙台に本拠をおくプラザ予備校グループ)、そして次に八戸で圧倒的な支持を得ている新教育センターと続く。八戸という地元に着して生徒を確保している新教育センターは、最近本部ビルを増築し、最上階に数百人規模が収容できるホールも設置、東進衛星予備校も好調だ。4位は明光義塾(岩手県内に本部を置くフランチャイジー)で9教場。第5位は青森市内に四教場を展開する地元密着の英進塾で、創業31年の老舗塾である。従業員数は10名ですべて専任スタッフが指導に当たっている。

他県からの主な進出塾 ▶▶▶ 進学会、青森進学プラザ(仙台進学プラザ)、俊英館(埼玉)

## 北海道

	事業所数 1,461所	従業員数 7,596名
--	-------------	-------------

生徒数(教室数) 上位5社

- 1 練成会グループ(札幌セミナー等含む)
- 2 進学会(北大学力増進会)
- 3 秀英予備校
- 4 ニスコ
- 5 栄光ゼミナール

#### 現況

ここ数年前まで道内の勢力は、札幌市と周辺都市に教室展開する練成会グループ(札幌セミナーを含む)と、東証一部上場企業で全国に66本部486の会場をもつ進学会(北大学力増進会)の二大学習塾の牙城であった。しかし2005年秀英予備校がまず札幌市内に16校開校、ついで札幌市外や旭川などに校舎展開し道内で26の大規模な校舎展開を始めると、道内の学習塾勢力図も微妙になってきた。特に進学会は生徒数の減少をくい止めようと、秀英予備校の広告戦略に真っ向から対抗、既存校舎のリニューアルや、統廃合で対抗姿勢をあらわにした。4位のニスコは道内の三番手で個別指導中心の学習塾、5位の栄光ゼミナールは首都圏を中心に展開している全国学習塾売上高トップの東証二部上場企業である。

他県からの主な進出塾 ▶▶▶ 秀英予備校、栄光ゼミナール

## 岩手県

	事業所数 351所	従業員数 1,470名
--	-----------	-------------

生徒数(教室数) 上位5社

- 1 エムシーエス生涯学習センター
- 2 明光義塾
- 3 ワオ・コーポレーション(能開センター)
- 4 教文社(作人館・白ゆり学習会)
- 5 ステップ・アップ

#### 現況

エムシーエス生涯学習センターは、盛岡市で八つの学校を運営する学校法人龍沢学館が運営母体である。盛岡市内に13、市外に5の合わせて18教場を展開している。生徒数はピーク時には3,500人ほど。2位の明光義塾は青森県、岩手県、宮城県で(株)クリエイトが運営しているメガフランチャイジー。岩手県下では盛岡市、一関市、宮城県などに13教場を展開している。3位は全国的に直営の高校受験コースを展開するワオ・コーポレーションの能開センター。盛岡と松園校舎がある。またその他に岩手県内での学習塾を売上を参考にしてみると、予備校経営、教材販売、白ゆり学習会・進学塾作人館経営の教文社、奥州市にある法人名、ステップアップなどがある。

他県からの主な進出塾 ▶▶▶ 能開センター